

## 第5回

# 第9期印西市高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会 会議録（要旨）

令和5年12月14日



【会議録】※氏名記載省略

1. 開会

(委員出席等について確認)

2. 議題

(1) 計画の骨子案について

資料1に沿って、基本理念案を説明

- 委員 生涯活躍は良いと思います。情熱に関しては、皆が情熱的でいられるものではないし、自己実現もそう簡単じゃない。希望としては、輝くが良いと思います。
- 委員長 いきいき あんしん 生涯輝くまち 印西が良いと思う方が多数いたので、意見がなければ、多数決でよろしいでしょうか。

→多数決により、基本理念を「いきいき 安心 生涯輝くまち 印西」に決定

資料2に沿って、計画の骨子案の概略を説明。

- 委員 第2章のところで、第8期は世帯数が入っていたと思いますが、入りますか。
- 事務局 入れるよう予定しています。
- 委員 30頁の基本目標と重点施策の関連性がよく分からない。その点について、教えていただきたい。
- 事務局 この重点施策は、各基本目標に対応しているものではなく、計画を全体として捉えた中での重点施策と考えています。  
令和7年度以降の人口構成等の変化を踏まえ、重点的に取り組むべきこととして位置づけています。
- 委員 一般的には、計画書の目標があり、その目標を達成するために重点施策があるといった関係が成り立つのではないかと思います。  
例えば、33頁のように詳細な施策体系図のようなものがないと分からない。  
体系的に整合性を持っていれば良いと思います。
- 事務局 施策体系図を調整し、わかりやすく表現できるようにいたします。
- 委員 基本目標1の地域包括ケアシステムの深化・推進の施策などはどこで示されるのでしょうか。
- 事務局 各基本目標に対応する施策については、33頁の施策体系図を調整し、お示しする予定であります。また、それぞれの施策については、35頁以降で施策の方向性や計画値等を掲載しています。  
施策体系図の表現につきましては、見易さや施策の関連性の捉え易さなどの観点から検討しています。

- 事務局 34頁の上段に記載しているとおり、住民が主体性を持って支えることができる地域づくりが今後、中期、長期的に見て非常に重要だと考えています。また、こういった地域づくりを進めていくうえで、地域の方々の認知症に対する理解が必要であると考え、この2つの重点施策を設定させていただきました。
- 委員 34頁の重点的に取り組む方向性を「介護予防の充実」「認知症施策の推進」「生きがいくくりと社会参加の推進」となっています。前の2つは、重点施策につながると思いますが、生きがいくくりと社会参加の推進に対応するものは無いのでしょうか。
- 事務局 生きがいくくりと社会参加に関しては、いんざい健康ちょきん運動が、両方を兼ねています。  
また、認知症サポーター養成講座については、認知症サポーターになるだけでなく、サポーターになったあとに実際に活躍してもらうことが、社会参加だと考えています。
- 委員 生きがいくくりと社会参加というと、地域共生社会であったり、仕事をしたりなどを思い浮かべます。この重点施策自体が弱いと感じました。何か、新たな新機軸を打ち出すべきだと思います。
- 事務局 何かの講座に応募し、参加することも社会参加と捉えています。第8期計画の基本目標2に、生きがいくくりと社会参加の推進があります。高齢者クラブの支援や学習機会の提供といった、何かに参加して、自分なりの生きがいを作っていくことも、広義の意味で社会参加と考えています。
- 事務局 いんざい健康ちょきん運動は、参加者の皆さんがチームとしてつながりを持ち、会場探しや会場準備など、自発的にそれぞれの役割を行っていきます。それぞれの役割が発生することによって、生きがいや、人のために自分ができるかというような自己効力感が自ずと生まれてくると考えています。そういった活動を通じて地域のつながりが強くなり、活動以外の場でも支え合いが生まれています。  
いんざい健康ちょきん運動はそんな効果が期待できると考えています。
- 委員 印西市として、いんざい健康ちょきん運動や認知症サポーター養成講座しかないのかと感じました。もう少し、アグレッシブなものを打ち出した方が良いと思いました。
- 委員 いんざい健康ちょきん運動や認知症サポーター養成講座の立ち上げからお手伝いさせていただいております。実際、高齢者の方達は、何かに参加することに二の足を踏みますが、その切っ掛けになるものは、健康だと思います。健康については、男性の方でも興味をもってくださいます。  
実際に参加していただくと、カセットを家から持ってきてくださったり、ど

んどん皆さんのお役に立とうとさせていただきます。そこから、地域の草むしりや避難訓練などに積極的に参加して下さるようになったこともあります。私は、いんざい健康ちょきん運動には意味があると思います。

○事務局 社会参加や生きがいづくりについての説明が足りていないことが、分かりづらさに繋がっていると感じました。記述を改めたいと思います。

○委員 2大施策と打ち出している割には、説明が薄く感じてしまいました。この2つの重点施策でいくのであれば、説明を追加してほしいと思います。

### (3) 事業の進捗状況について

#### 資料3に沿って、施策の評価(案)について説明

○委員 51頁に健診関係がありますが、4つが1つになるということでしょうか。

○事務局 お見込みのとおりです。

○委員 福祉車両の貸出について、障害福祉課と高齢者福祉課でそれぞれ1台ずつ持っているという理解でよろしいでしょうか。使える方は、障がい者手帳を持っている人のみでしょうか。

○事務局 1台の車両をそれぞれの課で受付を行っています。障がい福祉課の受付は、印西市内在住で、心身に障がいのある方とその家族となっています。

### (4) その他

○委員 市職員は異動も多く、この先、10期、11期とつながっていくなかで、この先の職員にも同じように、計画を理解してもらいたい。どのように引き継いでいくのか、引き継ぎの強化も明確にしていきたい。  
事業の評価についても、評価値を付けただけで終わらないようにしていきたい。

## 3. その他

次回策定委員会につきましては、準備が整い次第委員の皆様へ通知し、調整をしたいと思っております。

## 4. 閉会

以上

第9期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会第5回会議の議事録は、  
事実と相違ないことを承認する。

議事録署名人 松信 精一

議事録署名人 加藤 友輔